

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 2 回被服学教育 FD/IT 活用研究委員会議事録

- I. 日時：平成 21 年 9 月 4 日（金） 14 時から 16 時まで
II. 場所：私立大学情報教育協会事務局会議室
III. 出席者：高部委員長、江川委員、山口委員、伊佐治委員、阿部委員
井端事務局長、森下、恩田

1. 検討事項

(1) 学士力の詳細設計について

到達目標をイメージしたコア・カリキュラム、到達目標、測定手段等の検討（継続）
継続審議である被服学教育における学士力（案）について、カリキュラム案のたたき台（各委員から提出された宿題）に基づき、「到達目標 1～5」の設定、及び共通の到達目標における「コア・カリキュラムのイメージ（範囲）」「到達度」を審議し、作成した。

前回の宿題であった各委員から提出された基礎となるカリキュラム案を基に、事務局から提示された栄養学士力（案）なども書式等を勘案しながら、5つの「被服学教育における学士力（案）の説明文」毎に順次【コアカリのイメージ（範囲）】及び【到達度】について出席者で議論しながら順次記述していった。一通り、記述後、プリントアウトしたものを全員で再検討し、数度の修正を加えながら本日の委員会の段階における完成とした。

次回予定している測定方法が完成してから、また、内容は吟味することになる。

(2) 次回の会議では、被服学教育における学士力（案）の中の「測定方法」について検討・審議し、学士力案を完成することになった。

2. 配付資料 [参考 2]、[参考 4]、[参考 5]についての説明 [学術会議]

- ・分野別の質保証の枠組みに関する概念図
- ・分野の単位の設定並びに分野の選定についての基本的な考え方（案）
- ・分野別の教育課程編成上の参照基準について

3. 次回の第 3 回被服学委員会

10 月中旬とし、後日、各委員との日程調整後、決定する。

場所； 私立大学情報教育協会事務局会議室

以上

被服学教育における学士力(案)

1. 被服の歴史・文化や、被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用や被服造形などによるイメージや感性の表現ができる能力を身につけている。

【コアカリのイメージ】

- ・服飾文化史、ファッションデザイン、ファッションイメージ表現、被服心理、基礎造形

【到達度】

- ・被服の歴史・文化・役割を理解し、被服の社会的、保健衛生的役割を論理的に説明できる。
- ・被服のイメージや感性の表現ができる基礎能力を身につけている。

【測定方法】

2. 人体を把握し、人体と被服との関係や被服構造を知り、被服の構成力を身につけ被服パターン設計に活用できる能力を身につけている。

【コアカリのイメージ】

機能評価を含む被服人間工学、被服構成の基礎、パターン設計、縫製、ファッション造形

【到達度】

- ・人体の構造と機能を理解して、被服形態との関連を説明し、機能評価ができる。
- ・被服構成の基礎を知り、被服設計ができる。
- ・縫製の基礎知識を身につけ、被服造形ができる。

【測定方法】

3. 被服材料の特性を理解し、被服設計、被服デザインの着用表現ができる。

【コアカリのイメージ】

- ・アパレル素材、テキスタイル材料、染色加工、アパレル設計、アパレル表現、ファッション色彩

【到達度】

- ・被服素材の特性を理解する。
- ・アパレル設計ができる。
- ・ファッションプレゼンテーションができる。

【測定方法】

4. 繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みや周辺領域の産業を理解し、社会ニーズの調査・分析方法を身に付け、企画設計を考えることができる。

【コアカリのイメージ】

- ・アパレル企画、マーケティング、リテール、アパレル産業・流通

【到達度】

- ・アパレル産業の構造が理解できる。
- ・マーケティング手法について理解し、市場調査・分析の方法を身につけている。
- ・アパレル製品の企画・設計を考えることができる。

【測定方法】

5. 被服の生産、流通、消費における環境問題を理解し、環境汚染、省資源的ライフスタイルを意識し、生活の質の向上を考えることができる。

【コアカリのイメージ】

- ・アパレル管理、アパレル環境科学、アパレル消費経済、ライフスタイル、

【到達度】

- ・環境問題を理解して、被服の着用、維持管理ができる。
- ・省資源的ライフスタイルを意識し、リサイクルなどを通じて衣生活の向上を目指すことができる。

【測定方法】